



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年9月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカキュー

コード番号 8166 URL <http://www.taka-q.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 木内 守

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長

(氏名) 佐藤立育

TEL 03-5248-4100

四半期報告書提出予定日 平成26年9月29日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	12,361	1.1	△76	—	37	△90.0	△77	—
26年2月期第2四半期	12,226	5.8	233	△46.0	372	△30.8	164	△44.4

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△3.18	—
26年2月期第2四半期	6.73	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
27年2月期第2四半期	12,538	—	7,317	—	58.4	—	300.28	
26年2月期	13,551	—	7,530	—	55.6	—	309.02	

(参考)自己資本 27年2月期第2四半期 7,317百万円 26年2月期 7,530百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	2.4	550	△32.6	770	△28.1	300	△35.9	12.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期2Q	24,470,822 株	26年2月期	24,470,822 株
27年2月期2Q	103,433 株	26年2月期	103,029 株
27年2月期2Q	24,367,615 株	26年2月期2Q	24,369,914 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第2四半期累計期間	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
4. 補足情報	9
商品別売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府や日本銀行の経済対策及び金融政策の効果を背景として、景気は緩やかな回復基調にあります。

しかしながら、当衣料品小売業界におきましては、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により、個人消費の回復に力強さを欠き、依然として先行きは不透明な状況で推移しております。

このようななか、当社は最高の「お客様満足」を提供するために、接客、商品開発、VMD（ビジュアルマーチャンダイジング）の向上に取り組みました。

売上面は、3月は消費税増税前の購買意欲の高まりで、スーツなどビジネス関連アイテムを中心にメンズ、レディースとも好調に推移しました。4月、5月以降は駆け込み需要の反動減が想定を下回り、さらに天候にも恵まれ、ジャケット、スラックス、カジュアルシャツなど初夏物の動きが活発に推移しました。

第2四半期は、クールビズに対応した商品企画を拡大した結果、ジャケット・カジュアルシャツなどが好調に推移いたしましたが、前年より遅い梅雨明けや、局地的な豪雨、大型台風の上陸などの影響により、半袖ドレスシャツやカジュアルインナーなど盛夏商品が不振でした。

ブランド面の強化としては、“上質な大人カジュアルの充実”のため“ウィルクス・バシュフォード”は細めのサイズを展開、また”レノマ(renoma)”のアウターも順調に推移しました。

タカキュー業態のレディースについてもスーツ（セットアップスーツ含む）が好調に推移しました。

その結果、当第2四半期累計期間で既存店での売上高は前年同期比0.8%増となりました。

店舗面では、主力業態の「タカキュー」を4店舗、ヤングカジュアル業態の「セマンティック・デザイン」を2店舗、「エムエフエディトリアル」を1店舗、計7店舗出店し、一方契約満了で2店舗、不採算店舗を4店舗退店いたしました。当第2四半期会計期間末で店舗数は前年同期比1店舗増の278店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は123億6千1百万円（前年同期比1.1%増）となりましたが、円安による仕入原価上昇及び値下高の増加等により営業損益は7千6百万円の損失（前年同期は2億3千3百万円の営業利益）、経常利益は3千7百万円（前年同期比90.0%減）、また減損損失が増加し、四半期純損失は7千7百万円（前年同期は1億6千4百万円の純利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、前事業年度末に対して10億1千3百万円減少し、125億3千8百万円となりました。主な要因は、流動資産で売掛金が1億2千3百万円増加し、現金及び預金が1億7千1百万円、商品が8億9百万円、固定資産で投資その他の資産の敷金及び差入保証金が1億6千7百万円それぞれ減少したこと等によるものがあります。

負債の部は、前事業年度末に対して8億円減少し、52億2千1百万円となりました。主な要因は、流動負債で支払手形及び買掛金・電子記録債務が3億8千万円、未払法人税等が2億5千2百万円およびその他の未払金が2億8千8百万円それぞれ減少し、その他の未払消費税が1億7千8百万円増加したこと等によるものがあります。

純資産の部は、前事業年度末に対して2億1千3百万円減少し、73億1千7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1億9千9百万円減少したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に対して1億7千1百万円減少し、20億6千3百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億8千5百万円の収入（前年同期比1億7千1百万円の収入減少）となりました。これはたな卸資産の減少8億9百万円、非資金的費用の減価償却費2億5千7百万円および未払消費税等の増加1億7千8百万円による収入等と、仕入債務の減少3億8千万円、売上債権の増加1億2千3百万円および法人税等の支払額3億1千1百万円の支出等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億3千5百万円の支出（前年同期比2億1千万円の支出減少）となりました。これは敷金及び保証金の回収による収入が2億2千万円ありましたが、新規出店および改装等により有形固定資産の取得による支出4億6百万円、敷金及び保証金の差入による支出6千6百万円および無形固定資産の取得による支出9千2百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、1億2千1百万円の支出（前年同期比4千8百万円の支出減少）となりました。これは主に配当金の支払額1億2千1百万円があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

1. 当期の業績予想数値の修正（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 26,500	百万円 680	百万円 900	百万円 350	円 銭 14.36
今回修正予想（B）	百万円 26,500	百万円 550	百万円 770	百万円 300	円 銭 12.31
増減額（B－A）	百万円 －	百万円 △130	百万円 △130	百万円 △50	－
増減率（％）	－	△19.1	△14.4	△14.3	－
（ご参考）前期実績 （平成26年2月期）	百万円 25,883	百万円 816	百万円 1,071	百万円 468	円 銭 19.21

2. 修正の理由

平成26年4月4日に公表しました平成27年2月期業績予想について上記の通り修正いたします。

上期につきましては、円安の進行に伴う仕入原価の上昇、および消費増税後の消費の冷え込みにより売上高が減少し、値下げが増加したことで商品粗利益率が低下、営業利益、経常利益、四半期純利益は当初予想を下回りました（平成26年9月22日修正発表）。下期につきましては営業利益、経常利益は当初予想通りとし、通期の業績予想を修正いたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,235,017	3,063,915
売掛金	1,171,099	1,294,419
商品	3,246,699	2,437,463
貯蔵品	40,856	40,416
繰延税金資産	145,486	149,728
その他	249,347	225,597
流動資産合計	8,088,506	7,211,541
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	419,906	416,455
機械及び装置(純額)	1,029	514
器具及び備品(純額)	541,367	534,161
その他(純額)	19,536	13,856
有形固定資産合計	981,840	964,989
無形固定資産	403,754	456,304
投資その他の資産		
関係会社株式	241,207	219,859
賃貸不動産(純額)	32,821	31,393
差入保証金	318,191	308,006
敷金	3,250,522	3,092,960
繰延税金資産	174,724	180,989
その他	159,334	171,700
貸倒引当金	△99,224	△99,224
投資その他の資産合計	4,077,577	3,905,685
固定資産合計	5,463,172	5,326,978
資産合計	13,551,678	12,538,520
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,334,909	827,963
電子記録債務	2,309,101	2,435,799
未払法人税等	336,353	83,984
賞与引当金	185,677	193,503
店舗閉鎖損失引当金	—	3,967
その他	1,206,751	1,037,747
流動負債合計	5,372,793	4,582,965
固定負債		
退職給付引当金	20,189	20,189
資産除去債務	505,868	504,771
その他	122,710	113,509
固定負債合計	648,767	638,470
負債合計	6,021,560	5,221,436

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	568,486	568,485
利益剰余金	4,935,639	4,736,430
自己株式	△26,007	△26,091
株主資本合計	7,478,118	7,278,823
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	51,999	38,259
評価・換算差額等合計	51,999	38,259
純資産合計	7,530,117	7,317,083
負債純資産合計	13,551,678	12,538,520

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	12,226,542	12,361,661
売上原価	4,843,643	5,290,954
売上総利益	7,382,899	7,070,706
販売費及び一般管理費	7,149,505	7,146,825
営業利益又は営業損失(△)	233,393	△76,118
営業外収益		
不動産賃貸料	172,696	155,756
手数料収入	48,649	50,844
その他	55,266	29,713
営業外収益合計	276,612	236,315
営業外費用		
不動産賃貸費用	121,284	106,389
その他	15,963	16,406
営業外費用合計	137,248	122,796
経常利益	372,757	37,400
特別損失		
減損損失	21,809	55,295
特別損失合計	21,809	55,295
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	350,948	△17,894
法人税、住民税及び事業税	173,245	62,373
法人税等調整額	13,680	△2,897
法人税等合計	186,925	59,475
四半期純利益又は四半期純損失(△)	164,022	△77,370

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	350,948	△17,894
減価償却費	234,039	257,239
減損損失	21,809	55,295
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△15,816	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	58,064	7,826
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	—	3,967
有形固定資産除却損	6,844	5,574
受取利息及び受取配当金	△4,973	△3,345
売上債権の増減額 (△は増加)	△26,407	△123,319
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△33,225	809,675
仕入債務の増減額 (△は減少)	590,434	△380,247
未払消費税等の増減額 (△は減少)	28,366	178,042
その他	△109,035	△95,679
小計	1,101,050	697,132
法人税等の支払額	△544,636	△311,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	556,413	385,199
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△499,040	△406,217
無形固定資産の取得による支出	△61,165	△92,541
出資金の回収による収入	—	220
敷金及び保証金の差入による支出	△113,329	△66,216
敷金及び保証金の回収による収入	129,397	220,908
資産除去債務の履行による支出	△20,541	△39,270
その他の資産取得による支出	△89,426	△37,315
長期預り保証金の返還による支出	△2,868	△17,500
長期預り保証金の受入による収入	7,800	—
利息及び配当金の受取額	3,287	2,896
投資活動によるキャッシュ・フロー	△645,887	△435,037
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の増減額 (△は増加)	△873	△85
配当金の支払額	△169,143	△121,177
財務活動によるキャッシュ・フロー	△170,017	△121,263
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△259,490	△171,101
現金及び現金同等物の期首残高	2,587,804	2,235,017
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,328,314	2,063,915

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

商品別売上高

	前第2四半期累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)		前事業年度 (自 平成25年3月1日 至 平成26年2月28日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
重衣料	4,196,121	34.3	4,341,118	35.1	9,395,087	36.3
中衣料	551,019	4.5	606,156	4.9	2,086,007	8.1
軽衣料	7,072,030	57.9	6,995,779	56.6	13,565,644	52.4
その他衣料等	407,371	3.3	418,606	3.4	836,497	3.2
合計	12,226,542	100.0	12,361,661	100.0	25,883,236	100.0

(注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。